

CU東京第14回定期大会開く 2022. 7. 23

20代・50代副委員長、40代書記次長選出

最高の峰1630人築く 年間相談407件



CU東京は7月23日（けんせつプラザ東京）で第14回大会を63人の参加で開きました。詳細は、次号に掲載します。ご協力ご支援いただいた各組合、団体、個人のみなさんにお礼申

し上げます。最高の峰1630人を築き、青年、女性を増やした新しい新役員を選出しました。15周年を見据えて、新たな前進をめざすことにしました。

本部の機能強化を図り 来年結成15周年を迎える 佐藤義見執行委員長



CU東京は、昨年同様400件にも及ぶ労働相談にこたえてきました。また、本部の機能強化のために労働相談活動、女性会議 財政・共済などの専門部の確立強化を図りました。さらに前進をつくり結成15周年をめざします。

<講演> 全労連 黒澤幸一事務局長

全労連の運動と ローカルユニオンの強化 - たたかう労働組合のバージョンアップ -



四半世紀に渡る賃金が上がらない国で、コロナの感染拡大3年目となりました。ウクライナでの侵略戦争、生活を直撃の物価高騰、労働者の生活と先行き不安はピークとなっています。

たたかう労働組合のバージョンアップは
①ストなど高い交渉力で要求実現を迫る組織

2022年度 CU東京執行委員

役職名	名 前	所属支部
執行委員長	佐藤 義見	三多摩
副執行委員長	唐沢 一喜	東京土建
々	高島 素昭	練馬
々	鈴木 明彦	ユニオンちよだ
々	伊東 弘子	文京
々	松井 優希	地域労組こうとう
々	田辺 陽子	地域労組こうとう
々	宮本 一	三多摩
書記長	高木 典男	団体協議会
書記次長	川村 好正	地域労組こうとう
々	寺川 知子	三多摩
々	高木 耕太	団体協議会
執行委員	高橋 孝	港
々	青木 正憲	地域労組こうとう
々	佐藤 盛雄	品川
々	新木 輝代	江戸川
々	柳生 秀行	葛飾
々	高島 章寿	足立
々	飯塚美智子	足立
々	山田 三平	文京
々	松崎由美子	豊島
々	萩元 末子	練馬
々	伊藤 栄江	渋谷
々	菊池 恒美	中野
々	宮田 清志	三多摩
々	大江 拓実	三多摩
々	岡 秀明	団体協議会
々	前澤 檀	団体協議会
会計監査	塚本 晴彦	団体協議会
々	山本 高明	東京土建

になる
②産別や地域の統一闘争への結集で企業別労働組合の限界克服
③組織拡大に成功できる組織になること
です。私たち労働組合の力をつけることなしに前進はつくれなません。
「私らは、労働者なんだ。力を合わせて声

第14回大会 特別決議

安倍元首相の「国葬」に反対します

岸田内閣は、7月22日、安倍元首相の「国葬」をおこなうことを閣議決定しました。「国葬令」が1947年に失効し、現行法には「国葬」の規定はありません。1967年に吉田茂元首相の「国葬儀」がおこなわれのみで、「国葬」の実施はきわめて異例なものです。

多くの国民は、参議院選挙の遊説中に銃撃され不慮の死を遂げた安倍元首相を追悼する思いを持ち、いかなる理由があろうとも暴力によっていのちを奪う行為を許すことができないと考えています。しかし、「国葬」の実施について国民的な合意がないことは明らかです。「国葬」は安倍氏の政治を美化し、故人への賛美を国民に強要することにほかならず、民主主義を損なうものです。憲法第19条の思想・信条の自由の保障に抵触し、個人の内心を統制することには許されません。

岸田首相は「国葬」によって「我が国は暴力に屈せず、民主主義を断固として守り抜くという決意を示していく」とのべ、また、安倍氏が歴代最長の通算8年8か月の間、首相を務めたことなどを「国葬」実施の理由としました。しかし、集団的自衛権行使容認の閣議決定に続き、安保法制＝「戦争法」の成立を強行し、新自由主義的な経済政策である「アベノミクス」は、貧困と格差の拡大を深刻化させました。森友・加計学園問題や桜を見る会など権力の私物化をすすめて、国会の議論を軽視し、政治の劣化がすすみました。

これらの事実に対して、わたしたちCU東京は批判し、多くの人々とともに政策転換を求めてきました。故安倍氏の「国葬」実施に強く抗議し、その撤回を求めます。多くの人々と力を合わせ、憲法をいかに、民主主義にもとづく政治の実現、一人ひとりを大切にする社会の実現を求める決意を表明します。

2022年7月23日

コミュニティユニオン東京第14回定期大会

を上げる以外にない」と労働者の階級性が求められています。単産と地方組織（ローカルセンター）・地域組織が一体でとりくむ必要があります。未組織労働者の組織化とローカルユニオンの強化していきます。

労働組合の仲間をふやして春闘に臨みましょう。これが、社会を変える、日本を変える道がんばりましょう。

「セクハラ裁判を闘う 0さんを支える会」 発足総会

6月22日（水）18時半から文京シビックセンターにおいて開催、参加者はzoom参加を含め



46人以上。支える会の会則の確認はもちろん「セクハラに対して泣き寝入りをしていないで闘う」という0さんの意思を支え応援していくことの確認をすることができました。

原告0さんの恐怖と口惜しさを乗り越え行動を起こした決意の肉声を聞いたことは、支える会

の発展的なエネルギーとなることと信じます。

岸松江先生の「記念講演」は、「セクハラ防止は事業主の義務です！～ジェンダー視点で職場を変えよう～」のテーマでセクハラが起きる背景や本質などをはじめ実践的なお話を分かりやすくお話しいただきました。お話しの中でこの日の13時10分から行われた第二回公判での被告側の準備書面の内容にも触れ、被告人の「故意がなかった」「良かれと思ってやった」「開封して見なければよかった」等の自分勝手な答弁を報告され、全く反省のない姿勢に怒りをもって冷静に戦っていく姿勢を示されました。これからもご支援よろしくお願ひします。

労働相談の充実をめざして ～駆け込み寺にふさわしい 親身な相談～



CUあだち支部では6月17日金曜日、「労働相談」の充実をめざして学習交流集会を開催しました。

講師には東京地評・元東京労働センター室長の前澤檀氏を招き話を聞きました。氏はあなたと家族は大丈夫？「ブラック企業に泣き寝入りしないための労働相談Q&A」の著者でもあり、東京都の労働行政や労働組合に長くかかわり、多くの相談にもたづさってきました。

労働相談についても「駆け込み寺」になっているか、藁をもつかむ思いで来ている相談者に親身に話を聞き、受け止め、共感をているか。相談の基本を深くえぐりました。

問題解決にむけて、本人・家族を含めこの組合と一緒に闘う労働組合として対応がなされてい

るかが問われるとして個人的ではなく社会の中で行動として相互に理解し取り組んでいくことを強調しました。知って得する法令知識満載、相談事例から参加者で事例検討も行いました。団交準備もぬかりなくしっかり学習しました。

第14回定期大会へ いただいたメッセージ (敬称略)

新婦人本部・東京社保協
埼玉ユニオン・全神奈川地域労組協議会
都教組・新宿一般労組
年金者組合本部・いの健東京センター
自治労連東京・桜保険事務所
(株)日本協同システム・(株)きかんし
東京学習会議・東京法律事務所
建交労本部・東京母親大会連絡会
中央労金池袋支店

ありがとうございます

■CU東京は7月23日、第14回定期大会を63人の参加で開きました。組織は1630人、最高の峰をつくりました。困難を乗り越え、闘ってきた成果です。前日、そして当日もあだち、江戸川、文京から組合員の加入書が届きました。支部・組合員のみなさんのこの1年のご奮闘にお礼申し上げます。■発言では、「セクハラ問題」、「不当解雇」と闘っている女性の代議員がそれぞれ発言しました。また、労災を勝ち取った闘いが報告され、当事者の女性がZoomで挨拶しました。1年間の労働相談は407件です。それを反映する発言・報告でした。ともに闘う決意を共有しました。■大会では来年が節目の15大会を迎えることを強調しました。憲法と平和を守り、雇用と権利、「個人の尊厳」を守る組合・CU東京の存在と役割を確認しました。新役員に女性が増え、四役に20代・50代の副委員長、40代の書記次長が加わりました。委員長先頭に役員一同、先頭に立ち奮闘します。よろしくお願ひします。